

(様式 3)

公表年月日	商号又は名称	代表者氏名	主たる事務所の所在地	電話及びFAX番号	E-mail	ホームページ等URL	認定事業主
令和6年12月27日	西垣林業フォレスト株式会社	横谷 圭二	奈良県桜井市大字戒重137番地	0744-43-5088 0744-46-3922	sanrin@nishigaki-lumber.co.jp	https://www.nishigaki-lumber.co.jp/nishigaki	—
			県内の事務所の所在地	電話及びFAX番号	E-mail	ホームページ等URL	認定事業主
			三重県伊賀市北山1560	0595-52-3131 0595-52-3133	—	https://www.nishigaki-lumber.co.jp/nishigaki	○

① 組織形態

会社	協同組合等	森林組合	個人事業主	その他
○				()

② 設立年月日

平成 31 年 1 月 7 日 設立

③ 事業の種類

造林	素材生産	製材	その他
○	○		()

④資本金(出資金)

千円
10,000

現場作業職員数

現場作業職員数 (うち常用)	事務系等職員数 (うち常用)	雇用管理者の 選任の有無	雇用に関する 文書交付の有無	現場作業職員の社会・労働保険等への加入状況					
				労災保険	労災保険料率	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	退職金共済等
5 人 (5 人)	人 (人)	有	有	5 人	5 %	5 人	5 人	5 人	5 人

8 人

8 人 (8 人)		有	有	8 人		8 人	8 人	8 人	8 人
---------------	---	---	---	-----	---	-----	-----	-----	-----

みえ森林・林業アカデミ

みえ森林・林業アカデミー修了者			フォレスト ワーカー	フォレスト リーダー	フォレスト マネージャー	森林施業 プランナー	森林作業道作設 オペレーター	技術士	技能士	林業技士	フォレスター (森林総合監理士)	林業架線作業主任 者免許取得者	その他 ()
ディレクター	マネージャー	プレーヤー											
人	人	人	1 人	1 人	人	人	1 人	人	人	人	人	人	人

人	
---	--

人	人	人	1 人	3 人	人	人	2 人	人	人	人	人	人	人	人
---	---	---	-----	-----	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

--	--

$$H^0 = \dots - \overset{\circ}{\text{---}} \quad \text{and} \quad \overset{\circ}{\text{---}} - \overset{\circ}{\text{---}} - \overset{\circ}{\text{---}} - \overset{\circ}{\text{---}}$$
[illegible]

2	台
---	---

[illegible]

5. 事業量等（事業量、事業区域、生産量の増加又は生産性の向上等）

事業期間 【直近の事業年度 : 令和5 年 1 月 1 日 ~ 令和5 年 12 月 31 日 】
【5年後の事業年度 : 令和11 年 1 月 1 日 ~ 令和11 年 12 月 31 日 】

※ 直近の事業所年度の実績及び5年後の事業年度の見込みを記載してください。

直近の年（基準）	事業区分	素材生産						造林・保育			左記以外の林業の事業量 （作業道）m	事業区域	素材生産の請負がある場合は、主な請負業者名を記載	造林の請負がある場合は、主な請負業者名を記載	
		主伐			間伐			植付(ha)	下刈り(ha)	その他 ()					
	指標	面積(ha)	材積(m3)	生産性(m3/人日)	面積(ha)	材積(m3)	生産性(m3/人日)								
	直営	0.00	0	0.00	18.00	954	2.50	0.00	0.00	0.00	450.00	三重県 伊賀・名張			
	請負	0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00				
合計	0.00	0		18.00	954		0.00	0.00	0.00	450.00	津市(町)				
材積計 954															

5年後の見込み	事業区分	素材生産						造林・保育			左記以外の林業の事業量 ()	事業区域	素材生産の請負がある場合は、主な請負業者名を記載	造林の請負がある場合は、主な請負業者名を記載	
		主伐			間伐			植付(ha)	下刈り(ha)	その他 ()					
	指標	面積(ha)	材積(m3)	生産性(m3/人日)	面積(ha)	材積(m3)	生産性(m3/人日)								
	直営	0.00	0	0.00	46.00	3,000	3.00	5.00	5.00	0.00	0.00	三重県 伊賀・名張			
	請負	0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00				
合計	0.00	0		46.00	3,000		5.00	5.00	0.00	0.00	市(町)				
目標とする項目						✓	← ※目標として設定するものについて「目標とする項目」欄にチェックしてください。								
材積計 3,000 214.5%															

※主伐及び間伐の計画がある場合、増加率（%）は目標とする項目について合算した数値を記載しています。

以下の6～14の項目の口欄について、該当する箇所にチェックしてください。

※ その他の取組等がある場合には、（ ）内に記載するとともに、該当する箇所にチェックしてください。

※ 該当するもの（チェックしたもの）について、具体的内容を記述してください。（添付書類で確認できる場合は省略できます）

6. 生産管理又は流通合理化等

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む予定	取り組む 意向がある			取り組んでいる	1年以内に 取り組む予定	取り組む 意向がある		
①適切な生産管理						②原木の安定供給・流通合理化等				
・作業日報の作成・分析による進捗管理や 工程の見直し	☒	☐	☐	(年後)		・製材工場等需要者との直接的な取引 直接的な取引の相手先名 【	☐	☐	☐	(年後)
・作業システムの改善	☐	☐	☒	(2 年後)		・とりまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷 とりまとめ機関名 【	☐	☐	☐	(年後)
・その他 ()	☐	☐	☐	(年後)		・森林所有者や工務店等との連携	☐	☐	☐	(年後)
						・その他 ()	☐	☐	☐	(年後)

①②のうち、該当するもの（チェックしたもの）について、具体的内容を記述してください。

作業日報は携帯で作成し共有する事で進捗管理、工程見直しに役立てている。又、作業システムの改善は山林に応じて取組む。

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	取り組んでいる	1年以内に 取り組む予定	取り組む 意向がある	
・伐採と造林の一貫作業システムの導入	☐	☒	☐	(年後)
・コンテナ苗等の使用	☐	☐	☒	(2 年後)
・低密度植栽	☐	☐	☒	(2 年後)
・下刈りの省略	☐	☐	☐	(年後)
・その他 ()	☐	☐	☐	(年後)

上記のうち、該当するもの（チェックしたもの）について、具体的内容を記述してください。

R7年度より西垣林業社所有林にて主伐、造林に取組みコンテナ苗、低密度植栽等も検討する。

8. 主伐後の再造林の確保

	有している	1年以内に 整備する予定	整備する 意向がある	
・主伐及び主伐後の再造林を、直営施業又は他者 への請負により実施する体制	☒	☐	☐	(年後)
・主伐及び主伐後の再造林を、連携する他の民間 事業者と一体的に実施する体制 連携する相手等の名称 【	☐	☐	☐	(年後)
・自己所有森林における主伐後の適切な更新の実施	☐	☐	☒	(2 年後)
・他者所有森林での主伐にあつては、森林所有者等 に対する事前の適切な更新の働きかけ	☐	☐	☐	(年後)

上記のうち、該当するもの（チェックしたもの）について、具体的内容を記述してください。

自社において再造林経験者を有しており体制整備は整っている。2年後に自社所有林の主伐及び更新を計画しており、適切な更新を実施する。

12. 環境への配慮

- ・環境に配慮した取組

取り組んでいる ☒ 1年以内に
取り組む予定 ☐ 取り組む
意向がある ☐ (年後)

上記取組の具体的内容を記述してください。

林地残材は流出しないよう伐採木は谷筋から引き揚げるとともに、伐採区域内の
広葉樹等は出来る限り残し、多様な森林の造成を心掛けている。

14. コンプライアンスの確保

- ・業務に関連して法令に違反し、代表役員等や一般役員等が逮捕され、
又は逮捕を経ないで公訴を提起されたときから1年間を経過していない者ではない ☒ はい ☐ いいえ
- ・業務に関連して法令に違反した場合は、再発防止に向けた取組を
確実に行う ☒ はい ☐ いいえ
- ・国、都道府県又は市町村から入札参加資格の指名停止を受けていない ☒ はい ☐ いいえ

15. その他、地域への貢献、表彰実績等に関する情報

その他事業体情報

13. 人材の育成

- ・作業現場の安全巡回

取り組んでいる ☒ 1年以内に
取り組む予定 ☐ 取り組む
意向がある ☐ (年後)

上記取組の具体的内容を記述してください。

緑の雇用制度等の活用により作業に必要な知識・資格の取得し社内教育カリキュ
ラムにて学びに抜けが無い確認し指導者も共有する事で計画的に技術者を育成
している。